

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

1. 学校概要

学校名 見附市立見附小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

住所 〒954-0052

新潟県見附市学校町1-3-89

E-mail : misho@mitsuke-ngt.ed.jp

Website : www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/

児童生徒数：男子 308 名 女子 287 名 合計 595 名

児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 国際理解 世界遺産 平和 環境
 気候変動 生物多様性 エネルギー 防災 食育
 伝統文化 そのほか（ ）

4. 活動内容

(1) 一年間の主な活動内容について

見附小学校では、ユネスコスクールに認定された平成22年度より、総合的な学習の時間や生活科に「花育」を位置付け、人や自然との関わり・生命あるものへの優しい気持ちを大切に学習活動を進めている。活動を4年間続けていく中で、少しずつ活動内容を見直しながら進めている。

平成26年度は、

- ①前庭及び花だるプランターを活用した「見小っ子ガーデン・マイフラワープロジェクト」
- ②見附市エコスクールプロジェクト

この2つの活動を柱とし、花や緑、人との関わりやつながりを重視したユネスコスクール活動を展開してきた。

以下、今年度実施した活動のうち、①について紹介する。

①見小っ子ガーデン・マイフラワープロジェクト

見附小学校では、総合的な学習の時間や生活科に花育を位置付け、ESDの考え方を取り入れた「花育指導計画」を作成し、年間を見通した活動を進めてきた。「栽培活動で、自らを取り巻く人々との共働作業を通して社会性を育むこと」「草花や野菜等の植物の温もりを『体験』『体感』させ、それを生かし、楽しむ活動を工夫すること」をねらいとし、それぞれの学年が以下のように活動した。どの学年も、「自分の花(野菜)」を意識し、根元にネームプレートを置いて、子どもたちが自分の花に愛着をもって世話する姿をねらった。水やりには、雨水を利用し、地球環境にも優しい活動を行うことができた。

1年…生活科「大きくなってねアサガオさん」(個人プランターでのアサガオの栽培)

進んでアサガオを栽培し、身近な植物としてのアサガオに親しみをもって大切にし、アサガオが成長するためにはどのように世話をすればよいか、また、栽培しているアサガオの特徴や変化に気付く姿を目指した。

そのために、教室から目の届く中庭に、子ども一人一人に一鉢ずつ用意し、世話しやすい環境を作ってアサガオを栽培した。さらに、前庭にアサガオアーチを設置し、アサガオを這わせ、登下校の際にアサガオにふれあえるようにした。葉や花を数えたり、茎が伸びていく様子を定規を使って測定したりして、アサガオの生長の記録を残していった。

秋になり、アサガオの種をとって保管している。この種は、来年度の1年生にプレゼントすることになっている。今年度植えた種も、前年度の1年生からもらった種である。見附小では、アサガオの種を年々受け継ぎながら栽培活動を行っている。

さらに、アサガオの蔓を使ってクリスマスリースを作成した。春から降雪直前までの長い期間、アサガオの生長に合わせて継続的に活動することができた。

2年…「つくろう仲良しダイコン」(学年畑で野菜の栽培)

夏野菜の取組では、どんな野菜を育てたいか考え、自分が欲しい苗を一・六の市へ買いに行った。このことで、一生懸命育てようと思いを高めることができた。

秋野菜の大根作りでは、学年の全員で栽培に取り組んだ。地域や保護者から「大根の先生」として指導に入っていただいた。子どもたちは、植え付け、間引きといった世話を一生懸命に取り組んだ。収穫した大根を、どうやっておいしく食べるか、誰を招待してパーティーを開くかなど、子どもたちは収穫の喜びと感謝の気持ちをしっかりともちながら活動をしていくことができた。

3年…前庭花壇に大輪を咲かせようスマイルサンフラワー

3年生以上の学年は、学校の顔とも言える前庭花壇で植栽をしている。3年生は、大きく背を伸ばすひまわりを植えることにした。夏季休業中は、毎年水やりがうまくいかなかった反省をもとに、子どもたちは話し合いの場を設けた。そこで、夏季休業中にも水やり当番表を作り、朝夕に学校に来て、水やりをすることにした。そのおかげもあり、子どもたちの背丈を越す、大きく立派なひまわりを咲かせることができた。

秋になり種取りをした。取った種は、自分で持ち帰ったほか、下級生に渡したり、他の学習でお世話になった地域、保護者の方に渡している。そして寂しくなった前庭には、ビオラの花を植えた。秋の文化祭シーズンには、学校を訪れる人々をたくさんのお花が迎え

た。

4年…前庭花壇を飾ろう ぐんと伸びるグラジオラス

例年4年生はジャンボカンナを植え付けていたが、球根の育ちが悪く、今年から花を変えことにした。他の学年が植える花との関係で、背丈が伸びるグラジオラスを植えることにした。球根を植えるに当たり、「グラジオラス博士になろう」と、植え方や水やりの仕方を調べた。

立派に咲いたグラジオラスは、訪れる人の目を楽しませたが、夏の猛暑で、花が早く枯れてしまった。そこで、秋の文化祭シーズンに向けてもう一度前庭花壇を美しく飾ろうと、パンジーを植え、降雪の前まで世話をした。雪の下になったパンジーが、春になって雪が消えた頃、また花を咲かせ、新一年生を迎えてくれる姿をイメージしている子どもたちである。

5年…前庭花壇でマリーゴールドの植栽

4年生と花壇を共有している5年生は、背の低い花を選んだ。オレンジと黄色の花を付けるマリーゴールドを選び、色合いを工夫して植え付けを行った。

前庭花壇は毎年春にたくさんの肥料を入れるため、雑草がたくさん生える。5年生の子どもたちは、せっかく植えたマリーゴールドが、雑草に埋まってしまうことがないように、精一杯草取りを行った。夏の暑い日は本当に大変だが、どの子どもも一生懸命取り組んでいた。夏休みのプール開放の時には、進んで草取りをしている子どもも見られた。

6年…伝統の見小花だるプランター

6年生は、玄関間近の花壇とプランターを担当した。見附小学校には、ウイスキー樽のプランター、通称花だるが48個ある。代々の先輩方が花を植え、世話をしてきた。今年6年生になり、あこがれの花だるを担当することになった。

花の色や背丈、花数やバランスをグループで考え、自分たちの花だるにしようと花の購入計画や植栽計画を立てた。

学校外への周知活動…「みつけお花いっぱいコンテスト」

見附小学校が、花や野菜を育てることで、自然への優しい気持ちを育てている「花育」に取り組んでいることを、広く市民の皆さんに周知する機会として、毎年10月に見附市主催で行われる「みつけお花いっぱいコンテスト」を大事にしている。今年度は、上記の取組を紹介したところ、小学校部門での上位3校に入選することができた。また、パネル部門では、見附小学校の中庭・前庭の様子や、花のある環境で過ごしている子どもたちの様子をパネルにして紹介したところ、こちらも上位3校に入選することができた。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()